

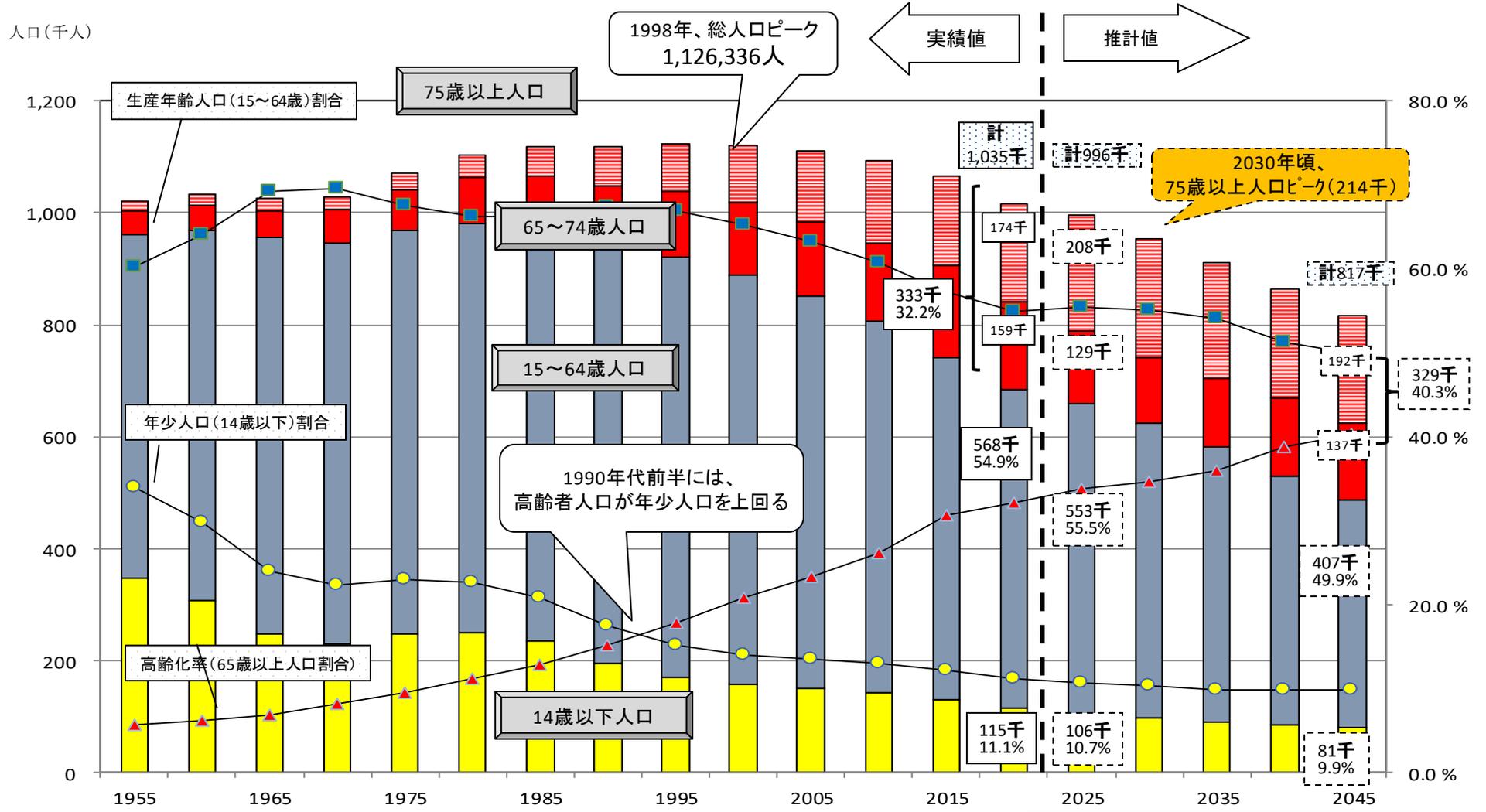
# 富山県における循環器病の現状及び 主な取組みについて

# 富山県の人口減少及び少子高齢化の進行

- 富山県の人口は、1998(平成10)年にピークを迎えて以降、減少が続いている。
- 今後も人口減少は続くが、高齢化率は上昇すると見込まれている。
- 医療・介護ニーズの高い75歳以上人口は、2030年頃にピークを迎える見込み。

【2020年→2045年】

総人口	: ▲218千人(▲21%)
高齢者人口	: ▲4千人(▲1%)
15～64歳人口	: ▲161千人(▲28%)



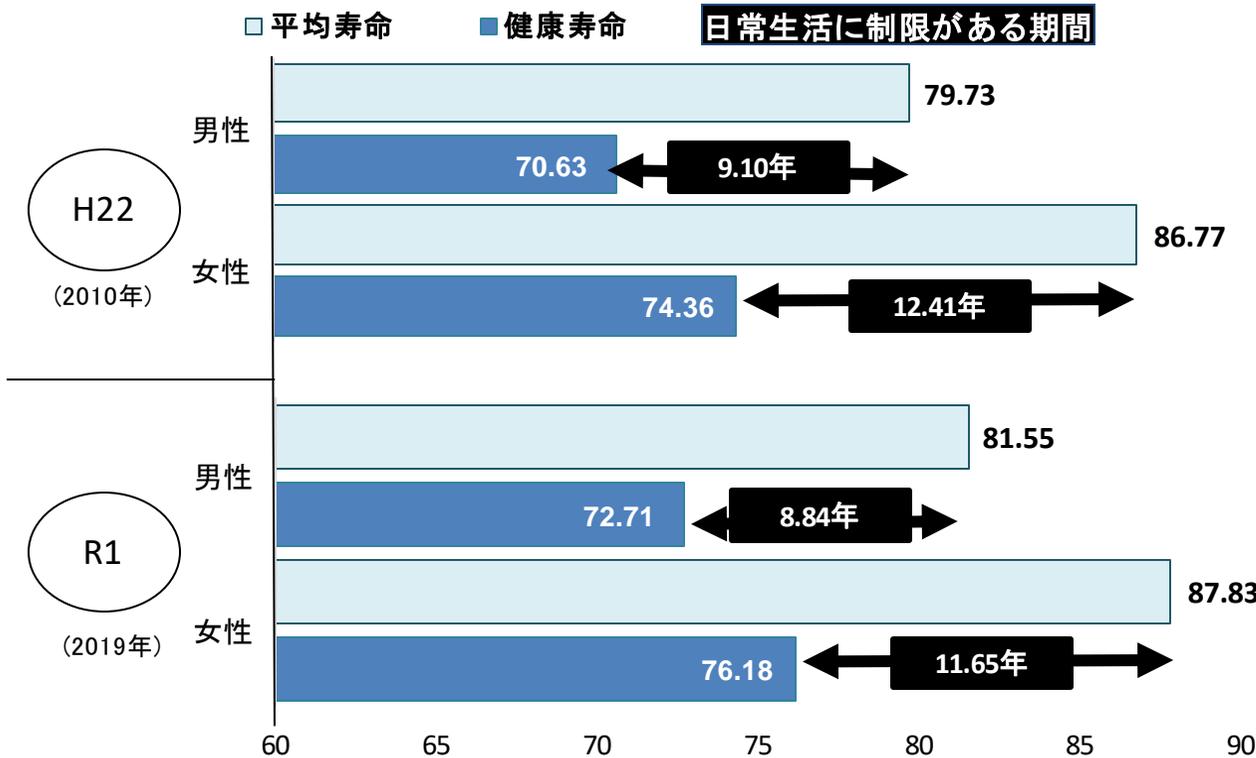
【資料】 実績値：総務省統計局「国勢調査」(年齢区分別人口は年齢・国籍不詳をあん分した人口)による  
 推計値：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より抜粋。

【参考】 高齢者人口ピーク:2042年(3,935万人)  
 全国 75歳以上人口ピーク:2054年(2,449万人)

# 富山県の平均寿命と健康寿命

○平均寿命及び健康寿命は年々延伸しており、**平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加**となっている。  
 ○2019(令和元)年の「健康寿命」において、計画策定時と比べ、男性は+2.08歳、女性は+1.82歳となっている。  
 一方で、「平均寿命」との間に男性で約9年、女性で約12年の差がある。

## 【富山県の平均寿命と健康寿命の差】



【平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加】(歳)

H22からの増加分	男性	女性
健康寿命	+2.08	+1.82
平均寿命	+1.82	+1.06

【参考】健康寿命と平均寿命の全国順位

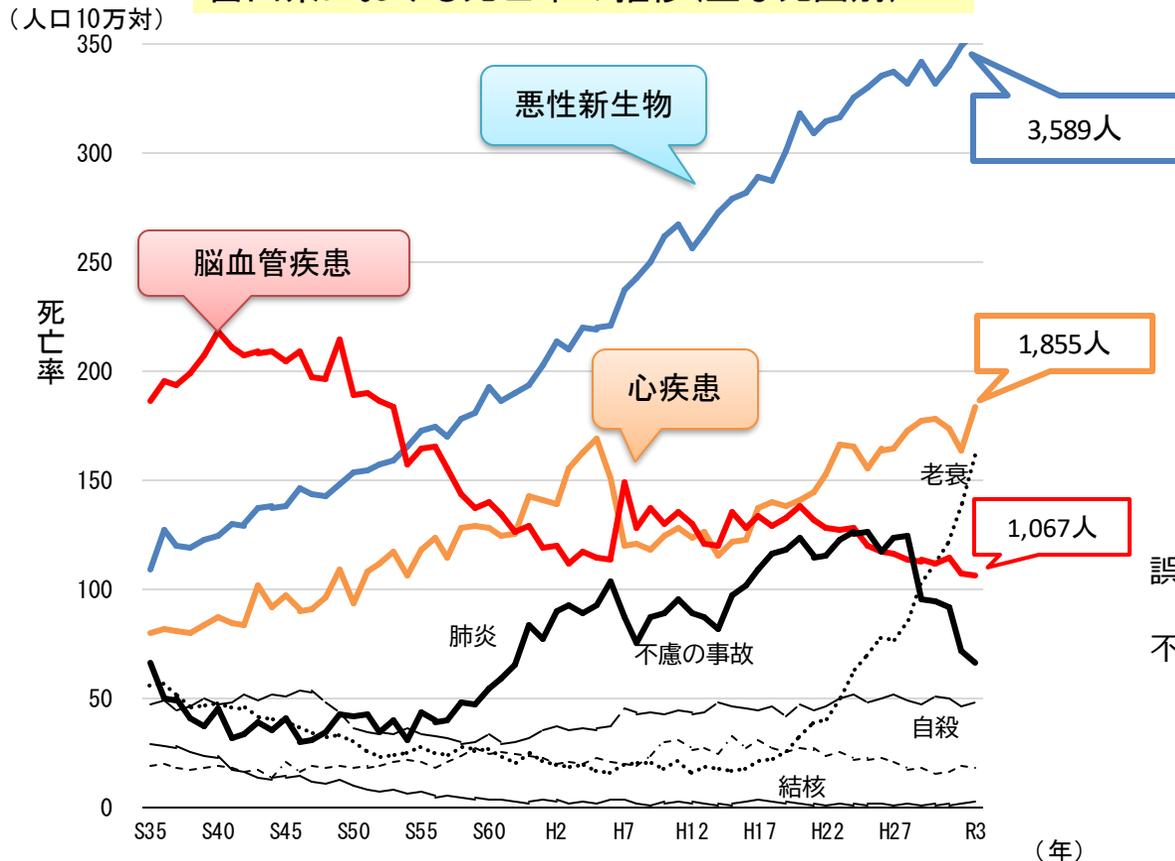
2019年(R1)	男性	女性
健康寿命	19位	10位
平均寿命	17位	12位

# 富山県の死亡原因における循環器病の割合

○心疾患及び脳血管疾患は、富山県におけ主な死亡原因である。

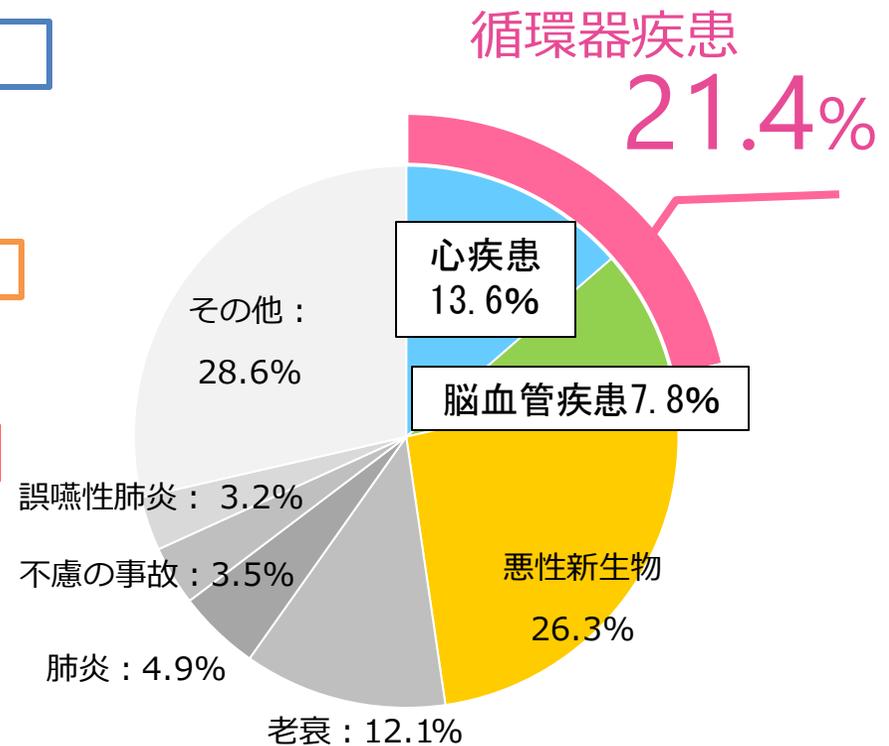
○2021(令和3)年の人口動態調査によると、**心疾患は13.6%**と死亡原因の**第2位**、**脳血管疾患は7.8%**で**第4位**となっており、両者を合わせた**循環器病は、21.4%**で**悪性新生物(がん)に次ぐ死亡原因**となっている。

富山県における死亡率の推移(主な死因別)



出典：人口動態統計(厚生労働省)

2021年(令和3年)の富山県の死亡原因内訳(%)

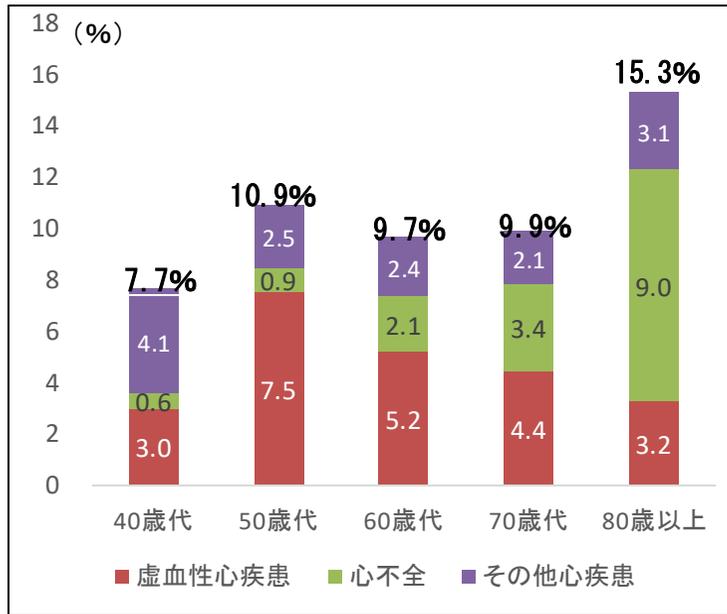


出典：令和3年人口動態調査(厚生労働省) 4

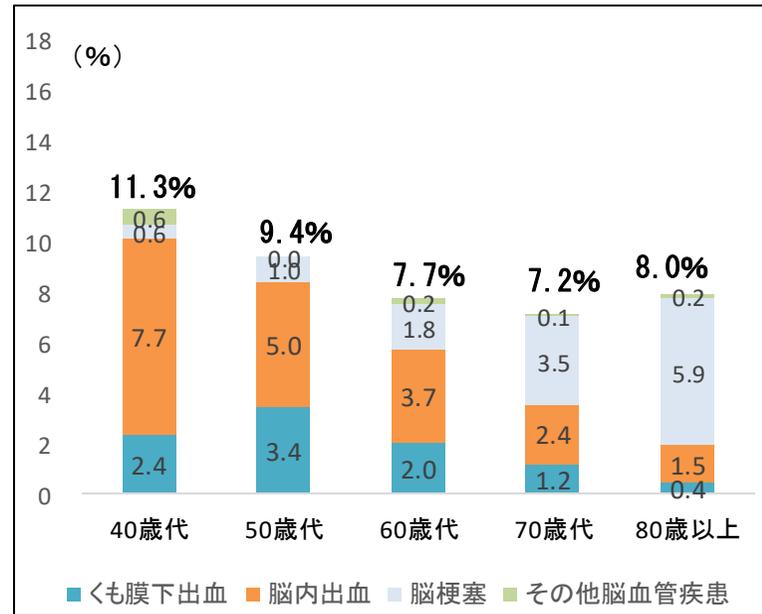
# 富山県の年代別死亡原因に占める循環器病の割合

- 心疾患は、年代が上がるごとに死亡原因に占める割合が**増加**している。虚血性心疾患の占める割合は減少し、心不全の占める割合が増加している。
- 脳血管疾患は、年代が上がるごとに死亡原因に占める割合は**減少**している。脳内出血が占める割合は減少し、脳梗塞が占める割合は、増加している。

各年代の死亡数に占める心疾患の割合



各年代の死亡数に占める脳血管疾患の割合



各年代別死亡数（人）

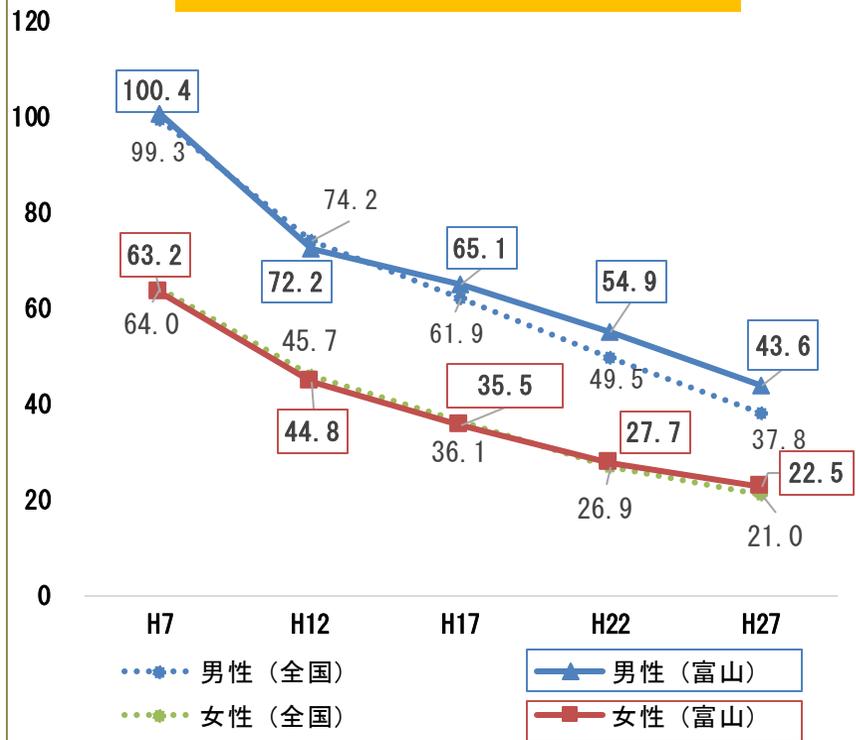
出典：人口動態統計（厚生労働省）

年代	総死亡数	心疾患			脳血管疾患					
		虚血性心疾患	心不全	その他心疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	その他脳血管疾患		
全年齢	13,650	1,855	504	970	381	1,067	108	270	666	23
40代未満	126	9	4	3	2	2	0	2	0	0
40代	168	13	5	1	7	19	4	13	1	1
50代	320	35	24	3	8	30	11	16	3	0
60代	887	86	46	19	21	68	18	33	16	1
70代	2,748	271	121	94	56	199	33	65	96	5
80代以上	9,401	1,441	304	850	287	749	42	141	550	16

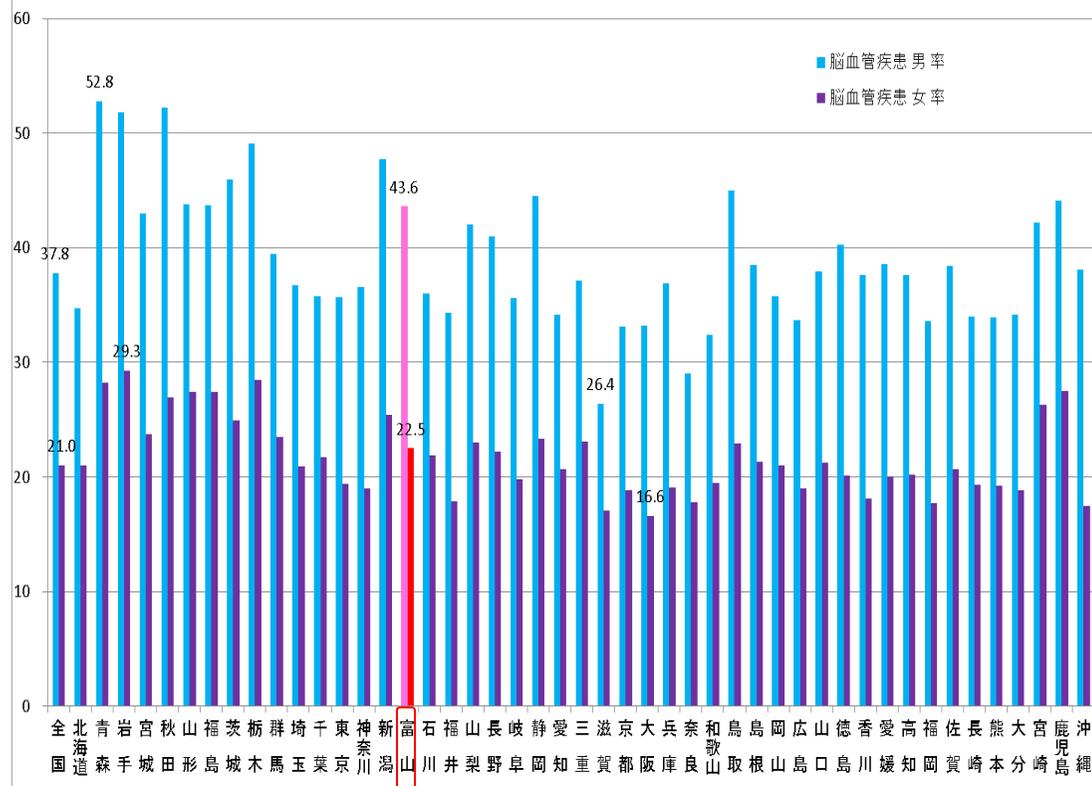
# 富山県の脳血管疾患の年齢調整死亡率

○脳血管疾患の年齢調整死亡率は年々減少しているが、**男性は全国37.8に対し43.6（全国12位）、女性は全国21.0に対し22.5（全国17位）**と、**男女ともに全国を上回っている。**

年齢調整死亡率の推移(人口10万対)

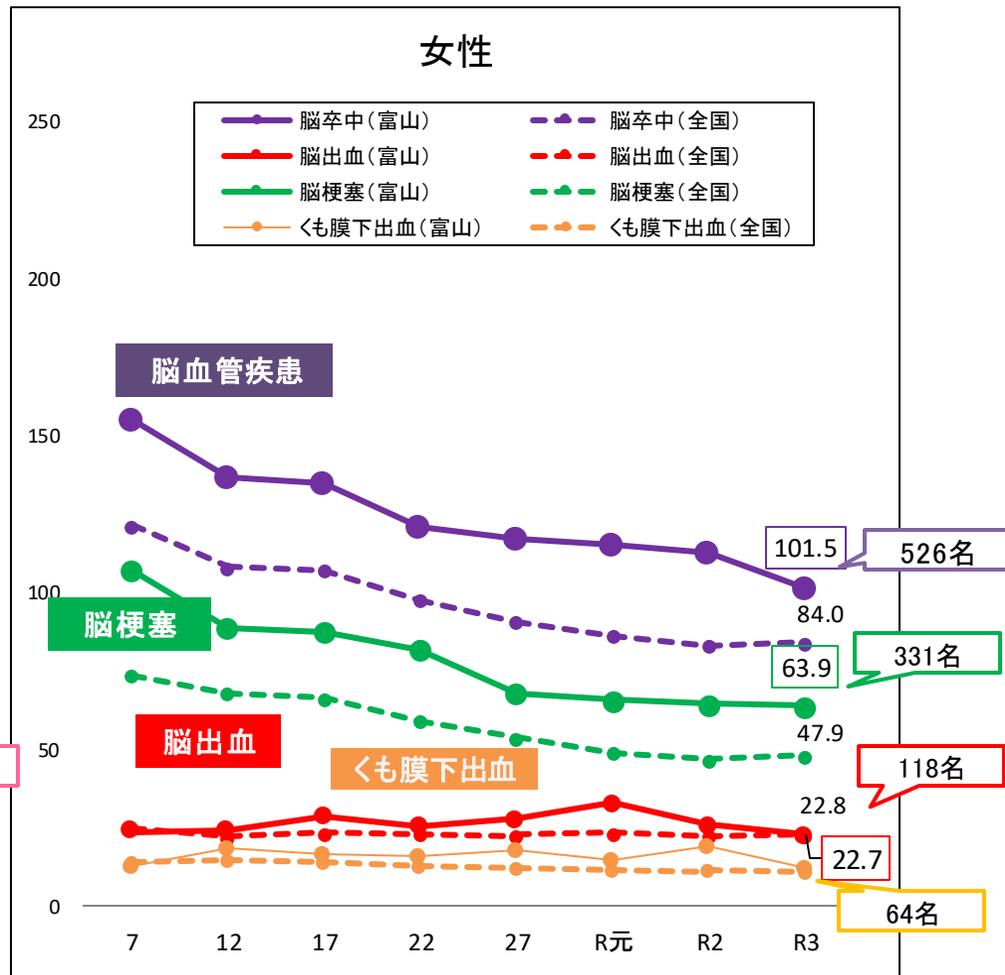
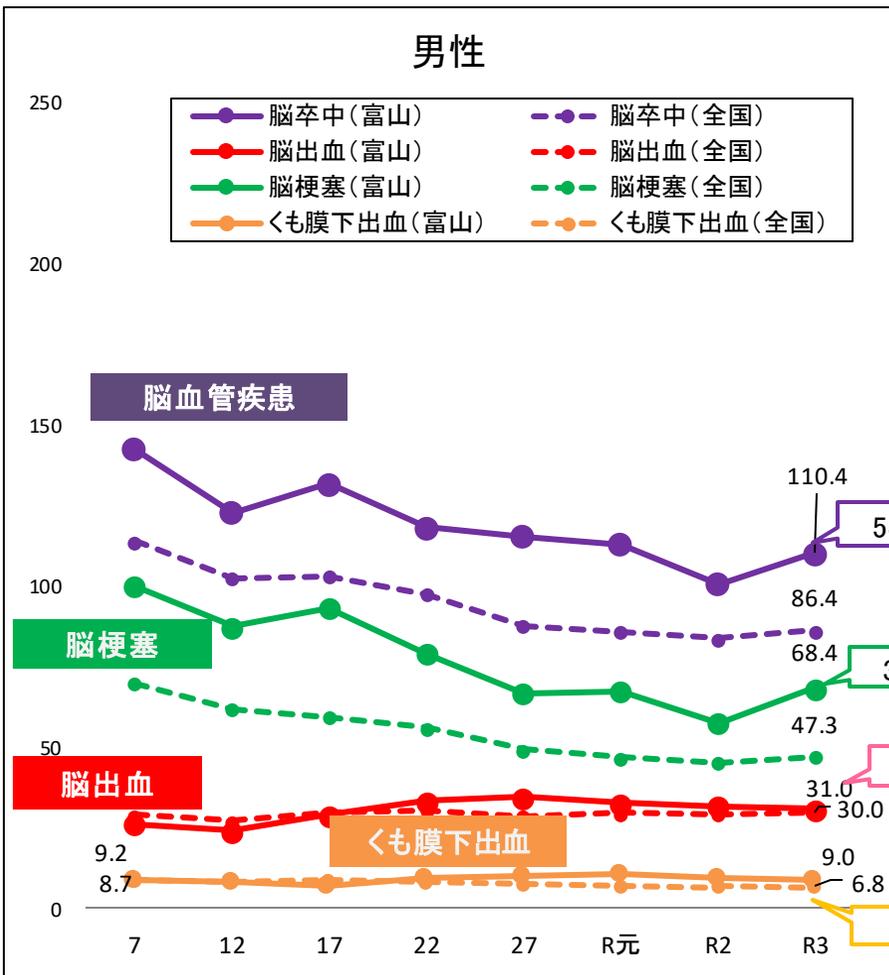


都道府県男女別年齢調整死亡率(人口10万対)



# 富山県の主な脳血管疾患の死亡率の推移（人口10万対）

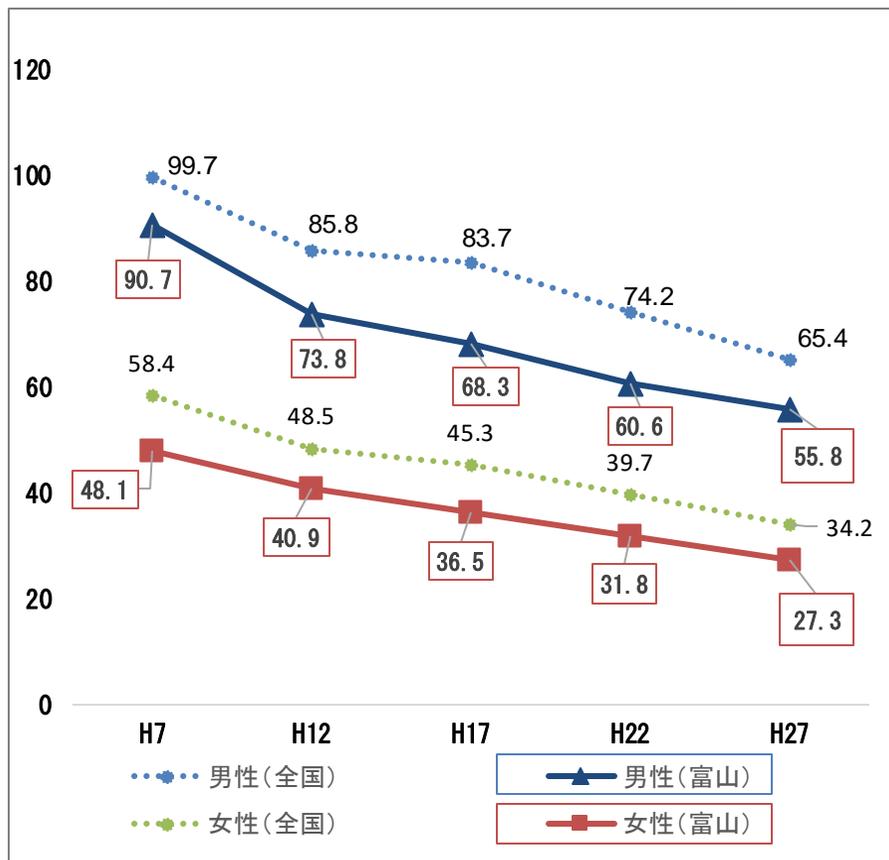
○脳血管疾患の死亡率は（人口10万対）男女ともに減少しているが、全国よりも上回っている。



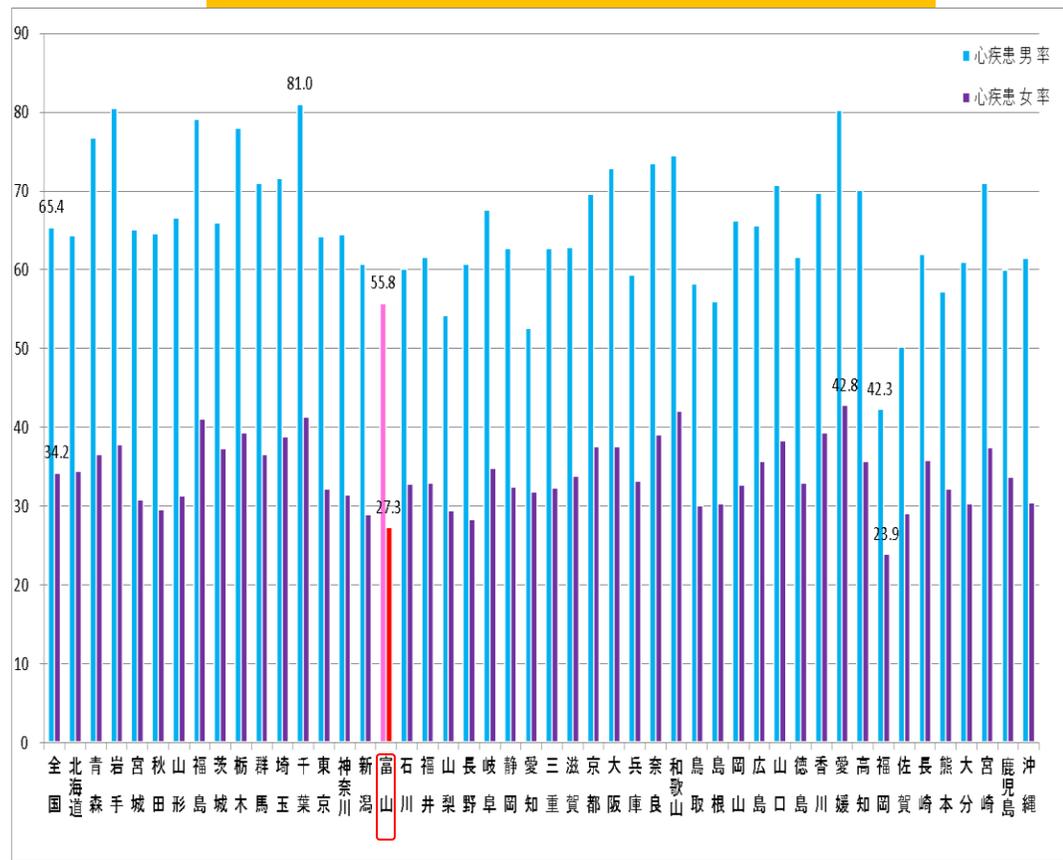
# 富山県の心疾患の年齢調整死亡率

○心疾患の年齢調整死亡率は、**男性**は全国65.4に対し**55.8**(全国43位)、**女性**は全国34.2に対し**27.3**(**全国46位**)と、**男女ともに全国を下回っている。**

年齢調整死亡率の推移(人口10万対)



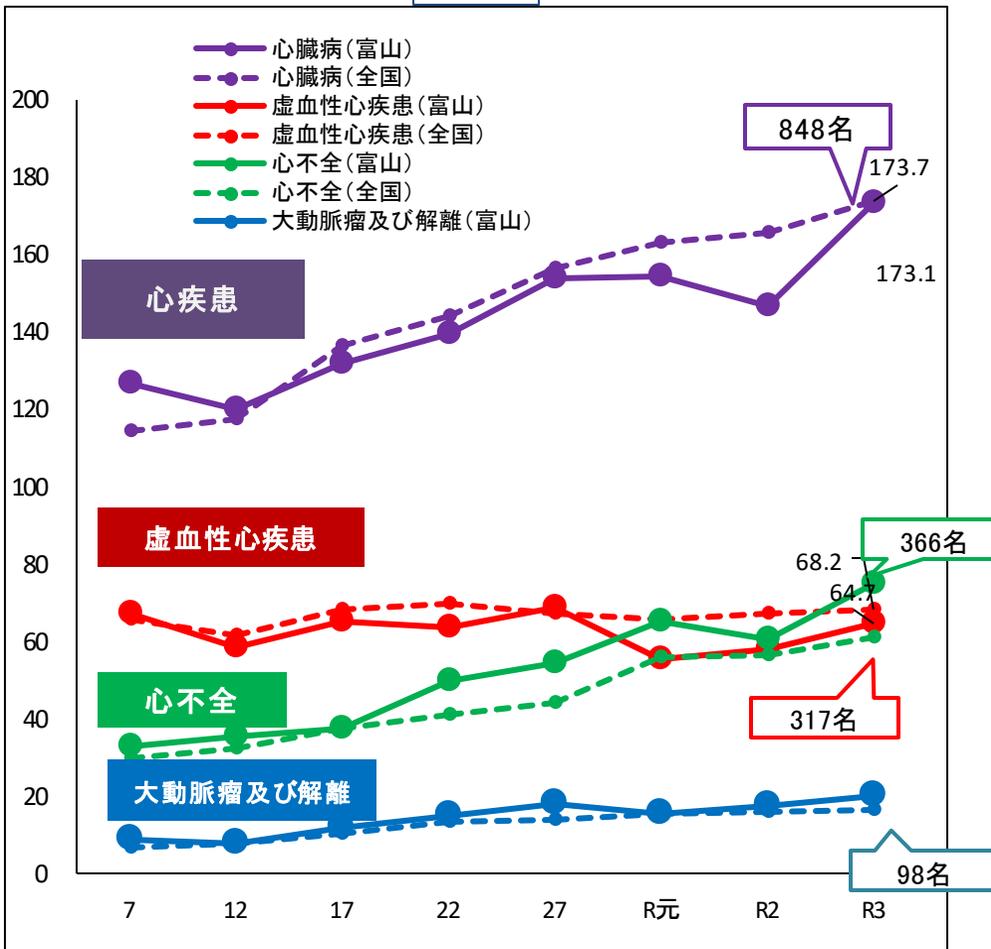
都道府県男女別年齢調整死亡率(人口10万対)



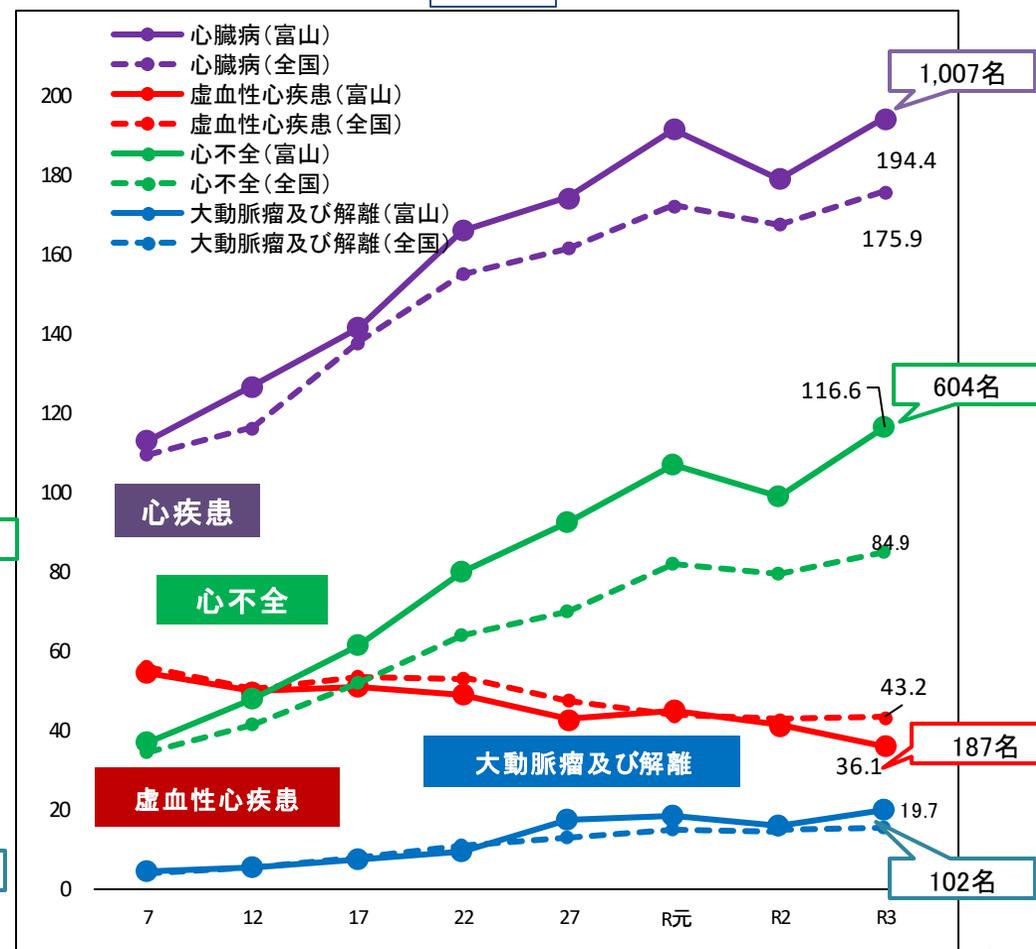
# 富山県の主な心疾患の死亡率の推移（人口10万対）

- 心疾患の死亡率（人口10万対）は年々増加しています。
- 女性の心不全による死亡率の増加が顕著で、全国を上回っています。

男性



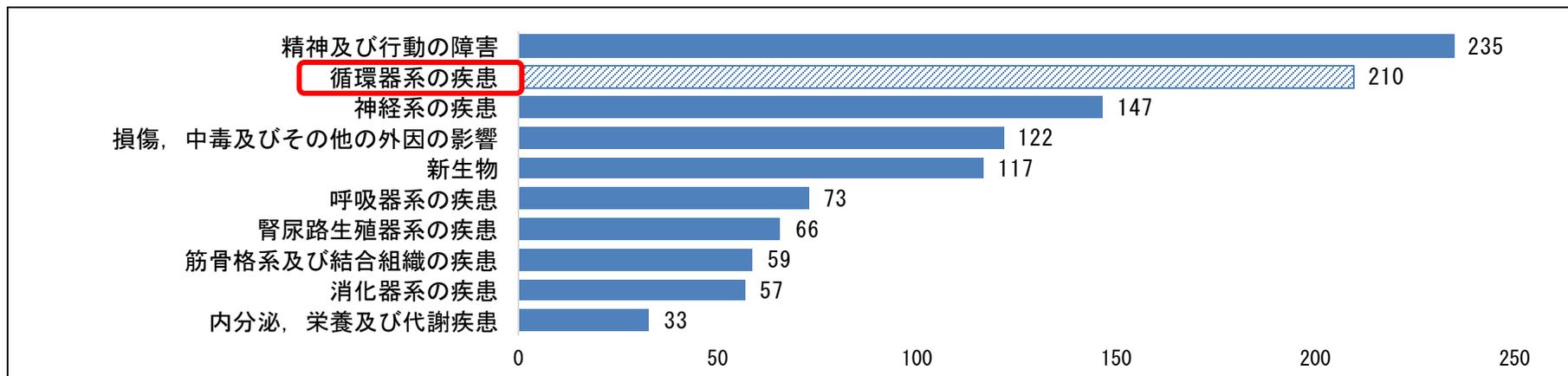
女性



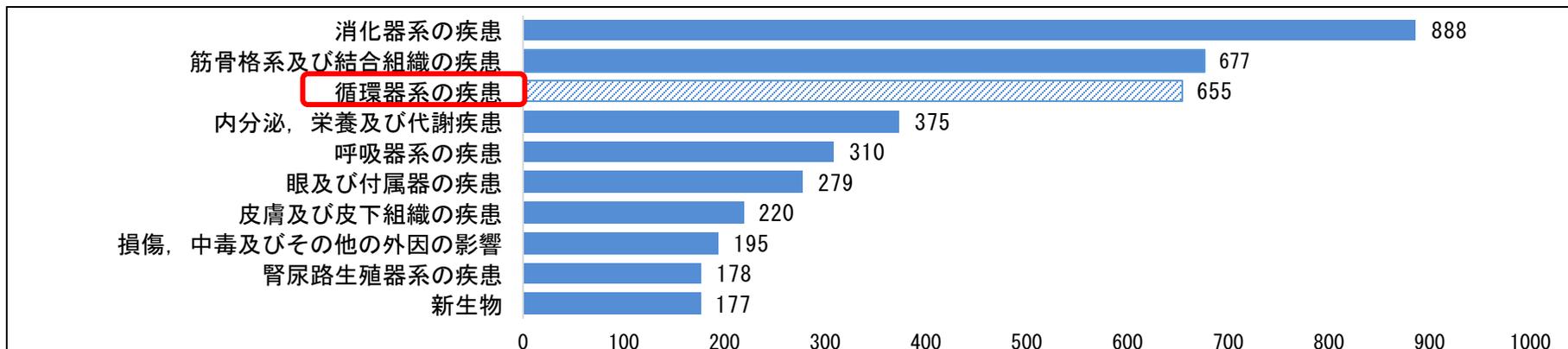
# 富山県の入院受療率・入院外受療率

○本県の疾病別入院受療率では**精神および行動の障害に次いで、循環器系の疾患が多く**、また、入院外受療率では**消化器系の疾患、筋骨格系に次いで循環器系の疾患が多くなっている**。

富山県の**入院**受療率（人口10万対）



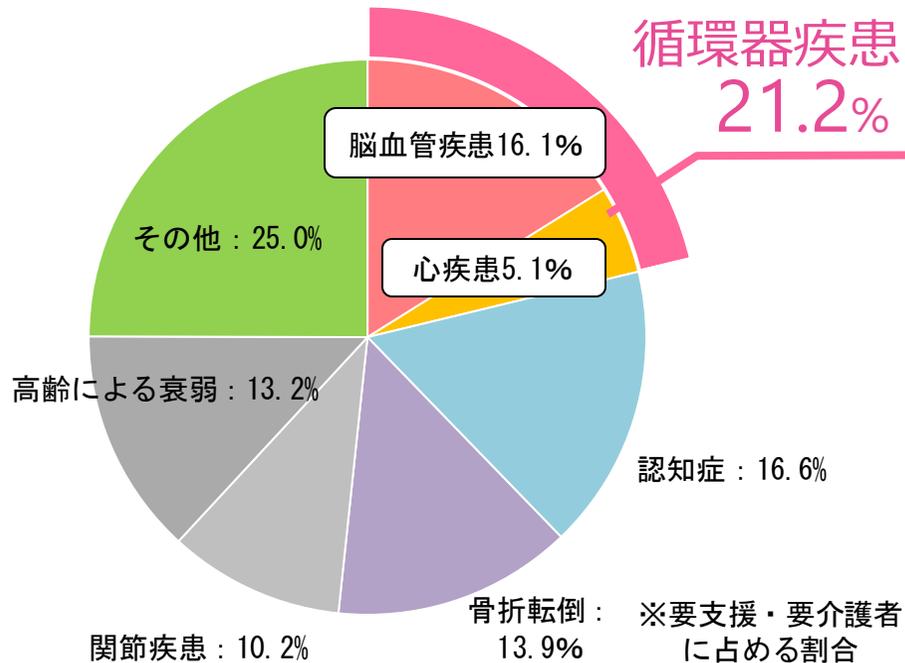
富山県の**入院外**受療率（人口10万対）



# 我が国の介護が必要になった主な原因

- 脳血管疾患が16.1%、心疾患が5.1%であり、両者を合わせた循環器病は21.2%と、介護が必要となった原因に占める割合は最多である。
- 介護度別にみると、脳血管疾患は、要介護1～3において原因の第2位、要介護4・5においては原因の第1位となっている。

介護が必要になった主な原因



<その他の内訳>

- パーキンソン病：3.5%
- 糖尿病：2.9%
- 悪性新生物：2.7%
- 脊髄損傷：2.2%
- 呼吸器疾患：2.0%
- 視覚・聴覚障害：1.1%
- その他：7.1%
- わからない：1.3%
- 不詳：2.1%

要介護度別にみた介護が必要になった主な原因(上位3位)

(単位:%) 2022(令和4)年

現在の要介護度	第1位	第2位	第3位
総数	認知症 16.6	脳血管疾患(脳卒中) 16.1	骨折・転倒 13.9
要支援者	関節疾患 19.3	高年齢による衰弱 17.4	骨折・転倒 16.1
要支援1	高年齢による衰弱 19.5	関節疾患 18.7	骨折・転倒 12.2
要支援2	関節疾患 19.8	骨折・転倒 19.6	高年齢による衰弱 15.5
要介護者	認知症 23.6	脳血管疾患(脳卒中) 19.0	骨折・転倒 13.0
要介護1	認知症 26.4	脳血管疾患(脳卒中) 14.5	骨折・転倒 13.1
要介護2	認知症 23.6	脳血管疾患(脳卒中) 17.5	骨折・転倒 11.0
要介護3	認知症 25.3	脳血管疾患(脳卒中) 19.6	骨折・転倒 12.8
要介護4	脳血管疾患(脳卒中) 28.0	骨折・転倒 18.7	認知症 14.4
要介護5	脳血管疾患(脳卒中) 26.3	認知症 23.1	骨折・転倒 11.3

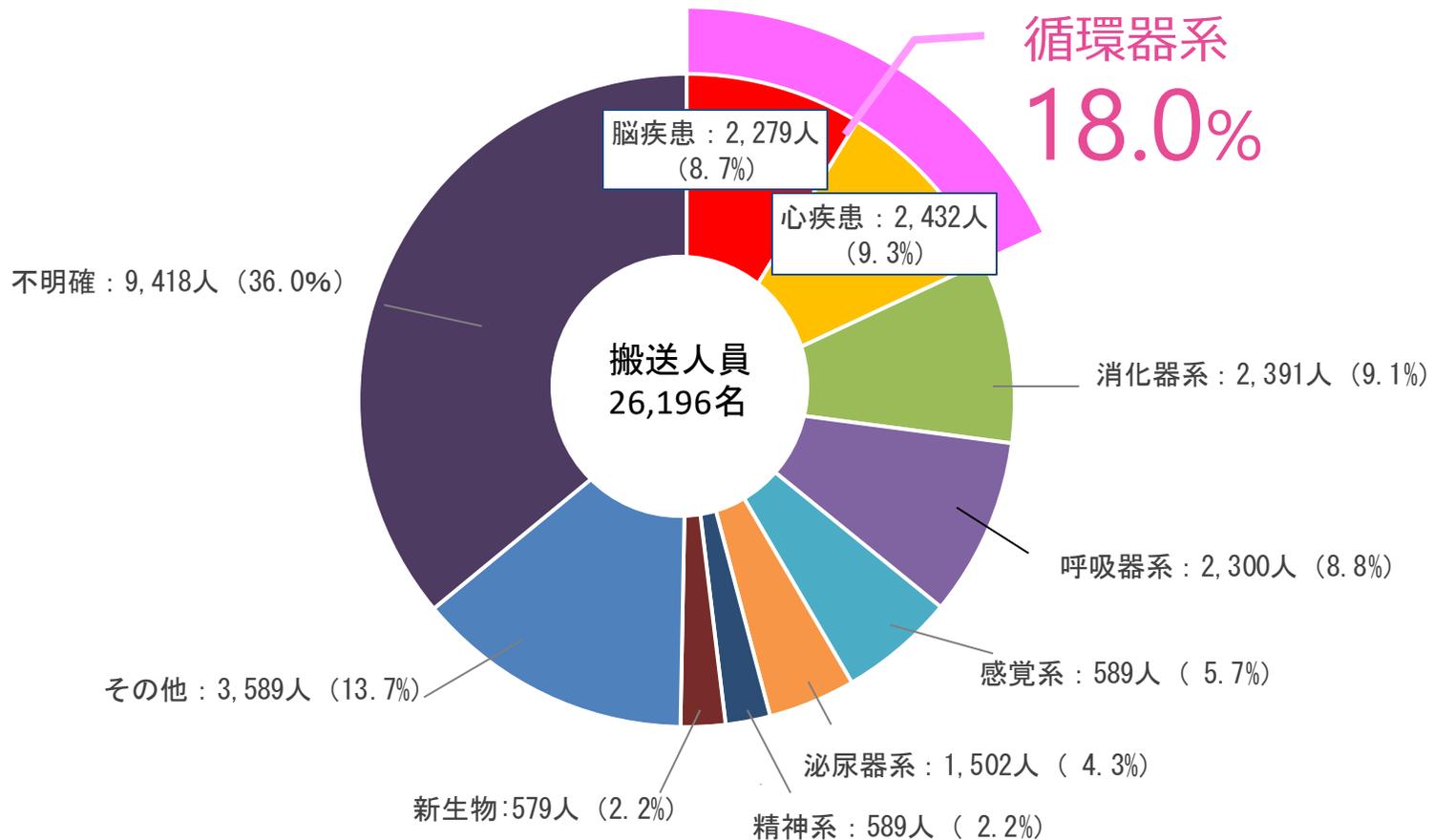
注：「現在の要介護度」とは、2022(令和4)年6月の要介護度をいう。

出典：R4国民生活基礎調査(厚生労働省)

# 富山県の急病にかかる疾病分類別搬送人員

○脳疾患が8.7%、心疾患が9.3%であり、両者を合わせた循環器系は18.0%と、急病にかかる搬送に占める割合は最多である。

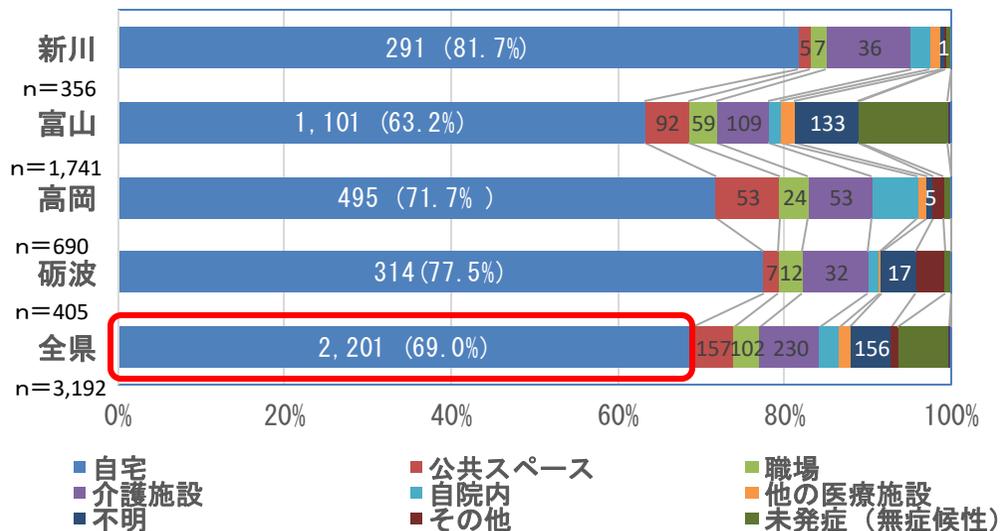
急病にかかる疾病分類別搬送人員(令和3年)



# 富山県の脳血管疾患患者の発症場所及び来院方法

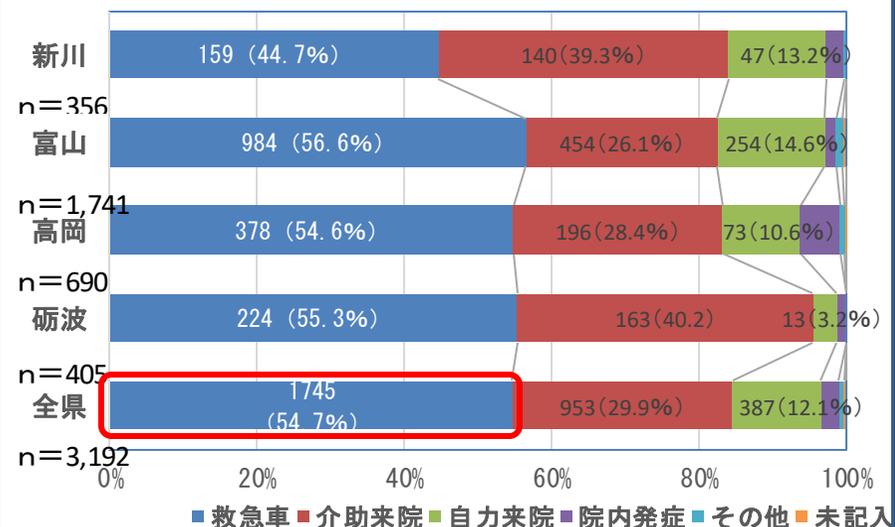
- 脳血管疾患の発症場所は、**自宅が69.0%と最も多い。**
- 発症後の来院方法は、**救急車での来院が54.7%と最も多く、次いで介助来院が29.9%と多い。**

## 発症場所



	新川	富山	高岡	砺波	全県
自宅	291	1,101	495	314	2,201
公共スペース	5	92	53	7	157
職場	7	59	24	12	102
介護施設	36	109	53	32	230
自院内	8	24	38	5	75
他の医療施設	5	30	7	1	43
不明	1	133	5	17	156
その他	1	2	9	14	26
未発症 (無症候性)	2	185	6	3	196
未記入	0	6	0	0	6 (人)

## 来院方法



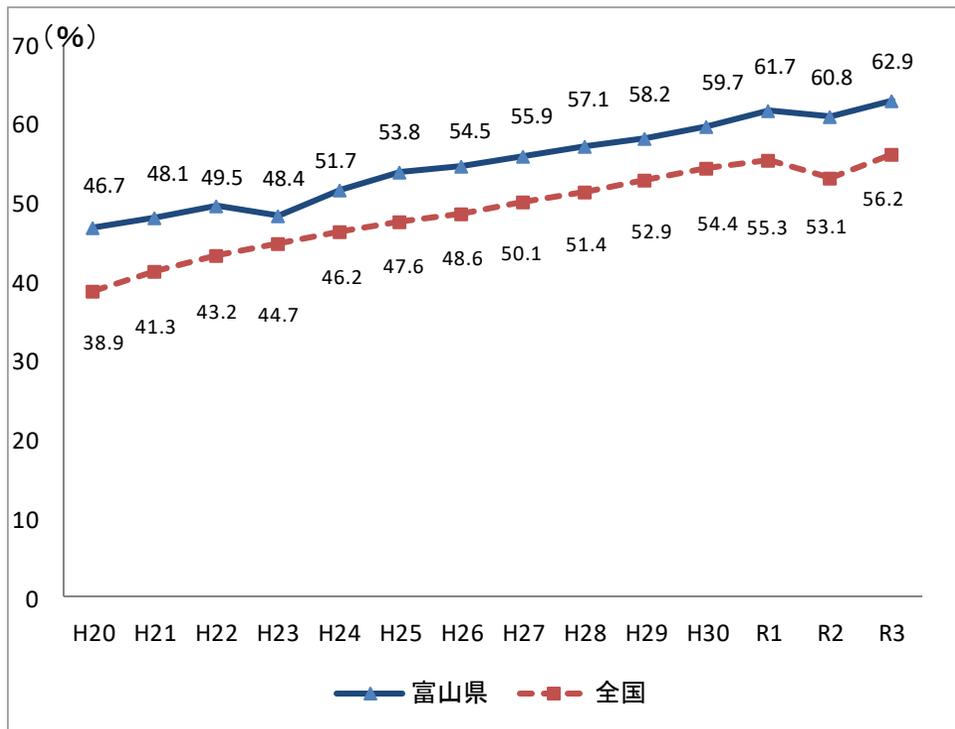
	新川	富山	高岡	砺波	全県
救急車	159	984	378	224	1,745
介助来院	140	454	196	163	953
自力来院	47	254	73	13	387
院内発症	9	26	37	5	77
その他	1	17	5	0	23
未記入	0	6	1	0	7

(人)

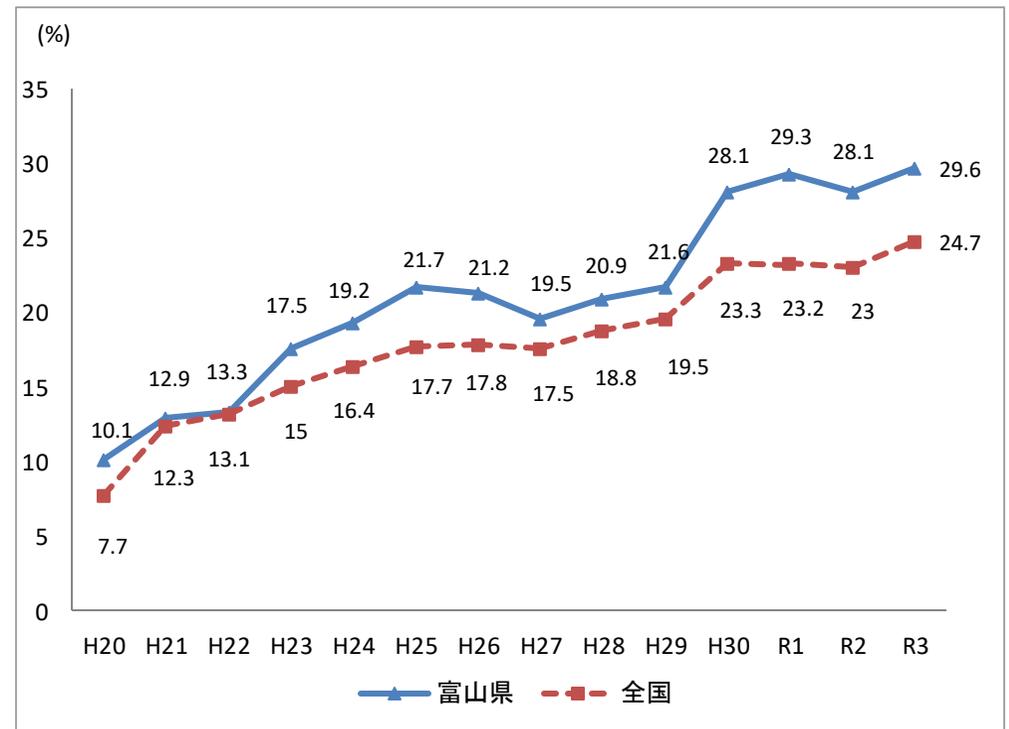
# 富山県の特定健診・特定保健指導の状況

- 本県の特定健康診査受診率は上昇しており、令和3年度は62.9%と全国より高い。
- 本県の特定保健指導実施率は上昇しており、令和3年度は29.6%と全国より高い。

特定健康診査受診率



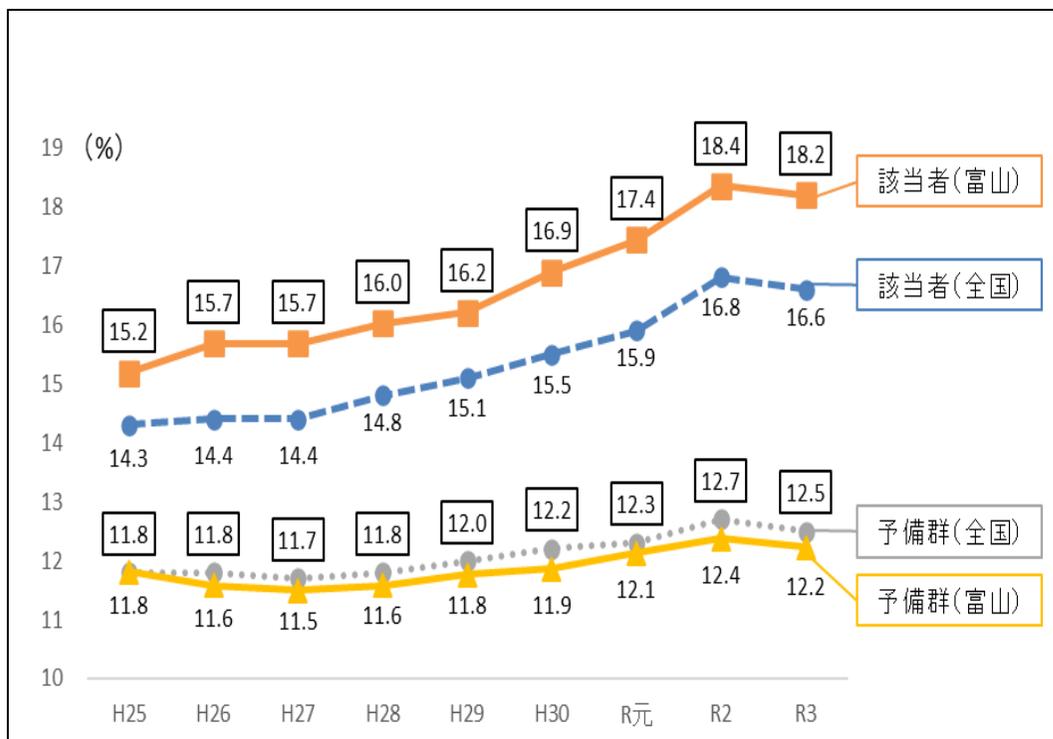
特定保健指導実施率



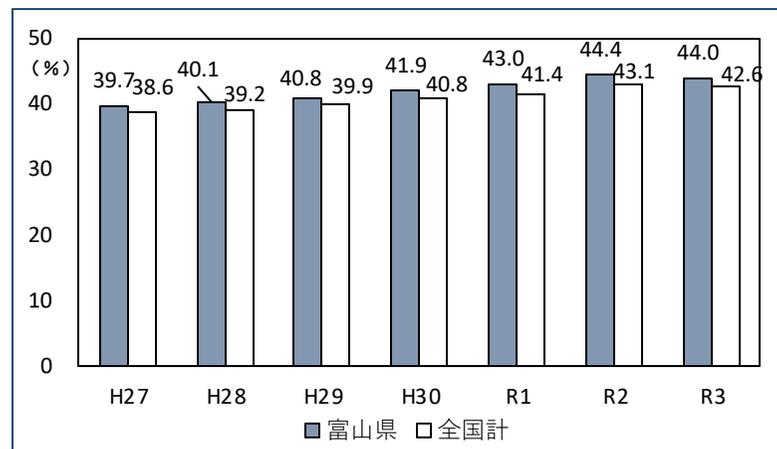
# 富山県のメタボリックシンドロームの状況

- メタボリックシンドロームの該当者(R3)は18.2%で、H23年以降**全国より高く推移**している。
- 男女ともに、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合は全国よりも高くなっている。

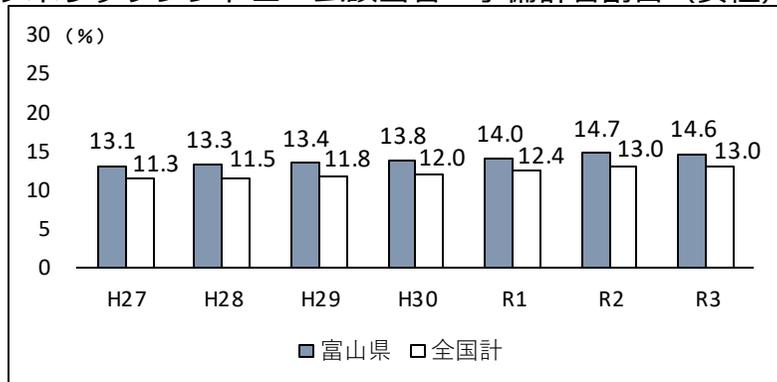
【メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合】



メタボリックシンドローム該当者・予備群者割合（男性）



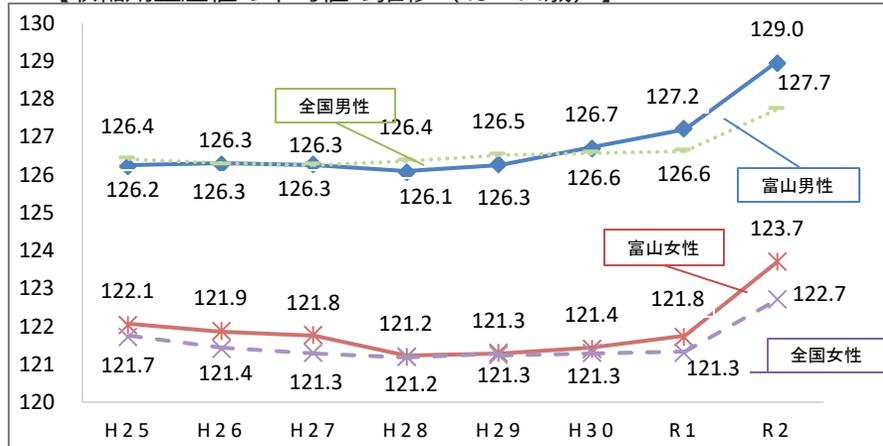
メタボリックシンドローム該当者・予備群者割合（女性）



# 富山県の高血圧・高血糖・脂質異常の状況

- 40～74歳の収縮期血圧の平均値(R2)は男性129.0mmHg、女性123.7mmHgでやや上昇傾向。
- 40～74歳の高血糖状態(HbA1c6.5%以上)の者の割合(R2)では、男性10.9%、女性5.6%となっており、その推移は男女ともに横ばいである。
- 40～74歳のLDLコレステロールの平均値(R2)では、男性124.8mg/dl、女性125.8mg/dlであり、男性はやや上昇、女性は横ばいとなっている。

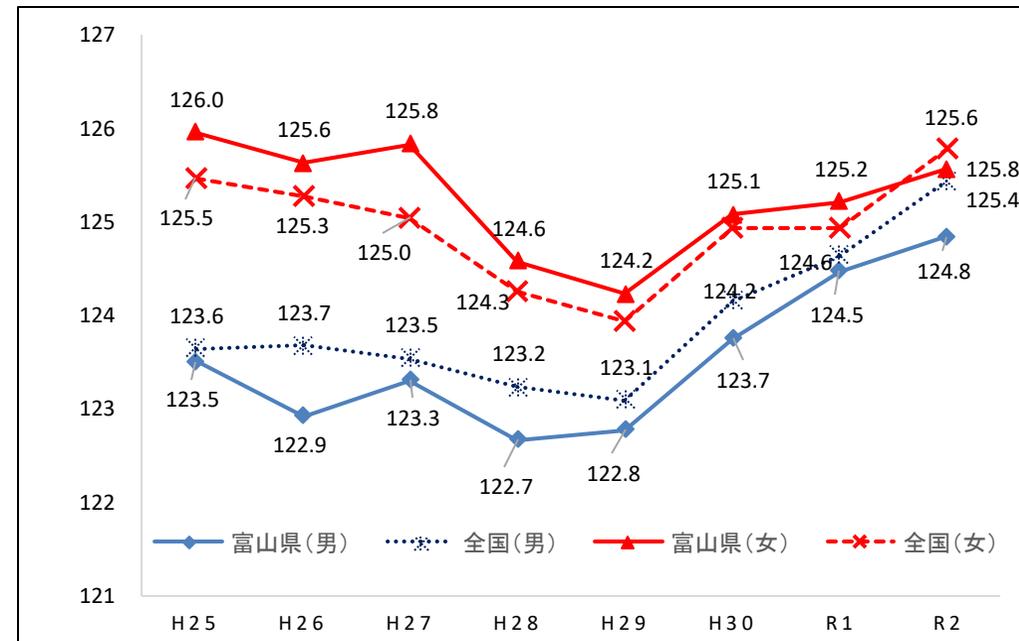
【収縮期血圧値の平均値の推移（40～74歳）】



【富山県の高血糖状態の者の割合の推移（40～74歳）】



【LDLコレステロール平均値の推移（40～74歳）】



出典：NDBオープンデータ（厚生労働省）

循環器病に関する  
富山県の主な取組みについて  
(令和4年度実績から抜粋)

# 1 循環器病の予防や正しい知識の普及

循環器病の発症予防のための健康的な生活習慣づくりや危険因子に関する普及啓発を実施。

## つながる健康プロジェクト

「健康を次の世代につなげる」ことをコンセプトに、世代間で健康づくりを支援するため、働き盛り世代向けの「ウォーキングファンタジーキャンペーン」や、学生向けの「つながる健康キャンペーン」「若者会議」を開催

## おうちで減塩キャンペーン

県民の塩分摂取量の減少に向け、県民向けの啓発セミナーや減塩調味料利用へのきっかけをつくるキャンペーンを実施

### ■ 調味料メーカー直伝！減塩セミナー

- ・ 開催日 令和4年9月10日（土）
- ・ 場所 アルビス大島店
- ・ 参加者 だしコース23名、しょうゆコース22名

### ■ おうちでこっそり減塩キャンペーン

- ・ 期間 令和4年11月1日（火）～11月14日（月）
- ・ 場所 アルビス減塩商品売り場（POP等掲示）
- ・ 期間 令和5年3月1日（水）～3月31日（金）
- ・ 場所 大阪屋ショップ減塩商品売り場（POP等掲示）



# 1 循環器病の予防や正しい知識の普及

## 野菜をもう一皿！食べようキャンペーン

「野菜の日」（8月31日）を契機として、家庭における野菜摂取の目標（1日350g）の達成を目指し、県内のスーパーや八百屋、コンビニエンスストアと連携して、野菜摂取促進の普及・啓発を実施

- ・ 期間 令和4年8月31日（水）～9月30日（金）
- ・ 協力店舗数 645店舗（R5年3月末時点）



## 働き盛りの健康づくり支援（健康ポイント）事業

主に働き盛りの健康づくりを支援するため、県公式スマートフォン歩数計アプリ「元気とやま かがやきウォーク」を活用した健康ポイント事業を実施し、楽しみながら継続して健康づくりに取り組む環境を整備

※累計ダウンロード数 23,992件（R5年3月末時点）



# 循環器病に関する富山県における主な取組状況

循環器病は、発症時に適切な治療を行うことで、後遺症を含めた予後の改善につながるため、県民に対してに関する発症後早期の対応やその必要性に関する啓発を推進

## 循環器病県民公開講座の開催

**県民公開講座 専門医が教えます!**  
**脳卒中と心臓病の最新治療と予防法**

2022年8月27日(土)  
 13:30～15:30(開場13:00～)

富山県総合福祉会館(サンシップと中央)  
 1階 福祉ホール  
 (富山県富山市5-21 TEL: 076-432-6141)  
 各施設はオンラインでも受講できます。

8月19日(土) 無料

1日 講演「専門医が教えます! 脳卒中と心臓病の最新治療と予防法」

- 講演①「防ごう! 治そう! 脳卒中」  
 富山大学附属病院循環器科 講師 秋岡 直樹 先生
- 講演②「急性心筋梗塞: 予防法と最新の治療」  
 富山県立中央病院循環器科 講師 宮野 裕一 先生
- 講演③「ここだけ知れよう、心不全診療の神髄」  
 富山大学附属病院循環器科 講師 今村 昌彦 先生

2日 講演「心臓病の最新治療と予防法」  
 「循環器病、この症状が出たら危険!」  
 & 今日からできる発症予防  
 小杉爆笑劇団

富山県

### ■ 「専門医が教えます！」

脳卒中と心臓病の最新治療と予防法」

- ・ 開催日 令和4年8月27日(土)
- ・ 場 所 富山県総合福祉会館1階福祉ホール(ハイブリッド開催)
- ・ 参加者 会場42名、YouTube視聴回数172回



## 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

### (1) 循環器病を予防する健診の普及

特定健康診査・特定保健指導、歯周疾患検診等の保健事業について各医療保険者、市町村における取組み、地域課題・データの把握と円滑な実施に向けた支援を行うとともに、特定健康診査・特定保健指導の理解の促進など県民への啓発を推進。

#### ○特定健診受診、生活習慣病予防等に関する普及啓発

健診受診や生活習慣病予防に関する広報を実施

- ・受診勧奨ホームページの作成

(R4.10月～R5.2月 アクセス数51,760回)

- ・YouTube受診勧奨動画作成(R5.10月時点 視聴数858回)

#### ○特定健診データを活用したリスク因子状況分析

市町村国保・協会けんぽの健診データからリスク因子を分析し、健康課題を把握

#### ○高血圧性疾患のデータ分析

市町村国保・後期の脳血管疾患等発症者について、過去の健診・レセプトデータや支援経過を分析

#### ○地域・職域連携推進事業

地域保健・職域保健が連携し、健康課題の明確化や協働した健康づくりの取組みの調整及び推進を図るための協議会を設置



## (2) 救急搬送体制の整備と救急医療体制の確保

循環器病発症後、迅速に適切な治療が行えるよう救急搬送体制の充実を図るとともに、救急車の適正利用と循環器病の症状が疑われる場合の速やかな救急搬送要請に向けた県民への普及啓発を実施。

### ○救急業務高度化推進協議会の開催

救急搬送の実施基準を検討するための会議を開催

### ○救急受診ハンドブックを活用した普及啓発

### ○救急救命士病院実習受入促進事業補助金

医療機関が救急救命士に対して行う心肺蘇生等の救急救命処置実習を支援

### ○ドクターヘリの運航

救急患者の救命率向上や後遺症の軽減に資するため、ドクターヘリを運航

- ・令和4年度実績：要請650件、受諾605件  
(前年度：要請680件、受諾645件)
- ・ランデブーポイント箇所数：612箇所(令和5年3月31日時点)

### ○医療提供体制設備整備事業

救急医療を担う医療機関が行う設備整備を支援



# 循環器病に関する富山県における主な取組状況

## 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

### (3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

患者の状態に応じた良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する医療体制の構築と、急性期、回復期、維持期における切れ目のない連携を促進

## ○かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催(富山県医師会委託)

かかりつけ医が心不全患者の在宅医療について理解を深めるための研修会を実施

内容:講義「最新の心不全診療」

「心不全治療薬の現在」

「かかりつけ医による心不全診療」

開催回数:1回 出席者:会場15名、WEB96名

## ○富山県在宅医療支援センター運営事業(富山県医師会委託)

在宅医療に取り組む医師の参入促進、在宅医療に係る研修会の開催・相談対応、郡市医師会在宅医療支援センターの活動支援

- ・在宅医療スキルアップセミナー等研修会の開催 6回
- ・ケーブルテレビで「人生の最終段階における利用とケアの意思決定支援」に関する講義等の放映
- ・「人生会議」記録ツールに関する研修会の開催

### (3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

#### ○富山県訪問看護総合支援センター事業(富山県看護協会委託)

県内訪問看護ステーションの人材確保、質の向上、経営の安定化を図り、在宅療養者への訪問看護提供体制の安定化・機能強化を支援

- ・訪問看護キャリア支援セミナーの開催 2回
- ・小児医療対応力向上技術研修の開催 3日間
- ・アドバイザー派遣 4か所



#### ○回復期機能病床確保事業

回復期リハビリテーション病床や地域包括ケア病床への転換を支援

回復期病床数

H26	R4
769床	1,829床

#### ○医療勤務環境改善・キャリア支援事業

#### ○とやま地域医療連携ネットワーク推進事業

大学病院、医療機関等と連携し、医師不足に直面する県内医療機関を支援

## (4) リハビリテーションの体制整備

急性期からの速やかなリハビリテーションの提供と、急性期、回復期、維持期に応じた切れ目のないリハビリテーションの提供を推進

### ○富山県リハビリテーション支援センターの運営

関係者研修会や連絡会の開催、調査・分析を実施し県全体のリハビリテーション支援体制を推進

#### 【研修会】

「失語症がある人へのコミュニケーション支援」出席者63名

「サルコペニア—どう気づき、どうつなぐか」出席者51名、オンデマンド配信211回

#### 【脳卒中情報システム回復期分析】

対象：県内の回復期リハビリテーション病棟を有する8医療機関

R元年～R3年度患者分析結果【対象：2,140名】

発症から回復期病棟入院までの日数	30.1日(全国36.0日)			
回復期病棟在院日数(平均)	72.2日(全国81.3日)			
入院時FIM別にみたFIM利得(運動)	入院時平均点数・改善度が全国同等			
	入院時FIM	入院時【全国】	退院時【全国】	改善値【全国】
	53点以上	68.4【66.9】	84.8【83.6】	16.4【16.8】
	27～52点	39.3【39.7】	68.6【68.1】	29.3【28.4】
	26点以下	17.4【17.0】	34.4【34.4】	17.0【17.4】
在宅復帰率(自宅、居宅系介護施設)	80.6%(全国74.4%)			



#### 【病院・在宅連携実態調査】

医療機関と介護支援専門員の連携状況等について調査

#### ■退院調整実施率

H26	R4
76.7%	87.1%

※全国値は回復期リハビリテーション病棟協会「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」より抜粋

## ○地域リハビリテーション広域支援センターの運営

医療圏ごとに地域リハビリに関する普及啓発やリハビリ実施機関への支援を実施

### 【主な研修会開催状況】

- ・「心不全の基礎知識と在宅管理」出席者169名
- ・「地域ぐるみで取組む心不全患者の在宅支援」R5.3月Youtube配信

## ○地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営

介護予防事業等へリハビリ専門職を派遣し、自立支援に資する取組みを促進

### 【市町村介護予防事業等へのリハビリ専門職派遣実績(件数)】

区分	地域ケア 会議	介護予防 教室	通いの場	研修会講 師	その他	計
令和元年度	42	40	20	3	12	117
令和2年度	43	35	10	1	45	134
令和3年度	82	65	89	17	20	273
令和4年度	89	64	177	15	10	355

# 地域リハビリテーション支援体制について

県内全域

**富山県地域リハビリテーション推進会議（実施主体 県）**  
H30.10月設置

- (1) 富山県における地域リハビリテーション推進体制に関すること
  - ・各リハビリテーション支援センター事業の評価
  - ・回復期リハビリテーションの評価(富山県の脳卒中情報システムの活用)
  - ・介護予防事業の取組み状況の評価
- (2) 各支援センターの指定に係る調査、センター機能の検討
- (3) 富山県リハビリテーション推進指針の改訂
- (4) 県内の地域リハビリテーションの推進に必要な事項

**富山県リハビリテーション支援センター**（知事指定）  
H13.3月指定  
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター  
富山県における地域リハビリテーションの拠点

- (1) 関係機関との連絡調整会議の開催及び地域リハビリテーションに関する情報発信
- (2) 地域リハビリテーションに関する調査・分析
- (3) 回復期リハビリテーションに関する調査・研究
- (4) 広域支援センター・地域包括ケアサポートセンターへの技術支援
- (5) 介護予防、回復期リハビリテーションに関する研修

**県厚生部 健康課・高齢福祉課**

- ・富山県における地域リハビリテーション支援体制の構築
- ・県内医療機関、リハビリテーション関係機関、関係団体との連携調整、情報共有
- ・データに基づく課題分析と評価 等

富山県リハビリテーション  
専門職協議会

二次医療圏

**各厚生センター(保健所)**

- (1) 地域リハビリテーション連絡協議会・ワーキンググループの開催
- ・医療圏内のリハビリテーション推進方策、連携体制等の検討
- ・広域支援センター事業計画・実施状況の分析
- ・地域包括ケアサポートセンターの事業実施状況の分析
- (2) 管内のリハビリ関係機関等の連携推進
- (3) 地域リハビリテーション活動推進事業の実施(訪問、相談、連絡会等)
- (4) 地域医療推進対策協議会、脳卒中部会等にて医療提供体制検討

**地域リハビリテーション  
広域支援センター**（知事指定）  
H13.12月指定

新川医療圏：黒部市民病院 高岡医療圏：高岡市民病院  
富山医療圏：富山市民病院 砺波医療圏：市立砺波総合病院  
かみいち総合病院 南砺市民病院

- (1) 各医療圏のリハビリ従事者、関係者等への技術援助等
- (2) 各医療圏のリハビリ従事者、関係者等への研修会の開催
- (3) 希少疾患患者等に対するリハビリ指導
- (4) 各医療圏内のリハビリ等に関する調査の実施・評価(入退院調整率等)
- (5) 地域包括ケアサポートセンター等との情報共有のための連絡会の開催
- (6) 地域住民への地域リハビリテーションに関する啓発普及
- (7) 必要時、各種市町村事業等への専門職の派遣

**地域リハビリテーション  
地域包括ケアサポートセンター**（知事指定）  
平成31年2月6日指定(富山労災病院は令和2年2月17日指定)、令和3.3.31指定

新川医療圏：丸川病院 高岡医療圏：済生会高岡病院  
富山医療圏：富山労災病院 富山市民病院  
富山医療圏：かみいち総合病院 砺波医療圏：市立砺波総合病院  
富山西総合病院 南砺市民病院  
西能みなみ病院  
アルペンリハビリテーション病院

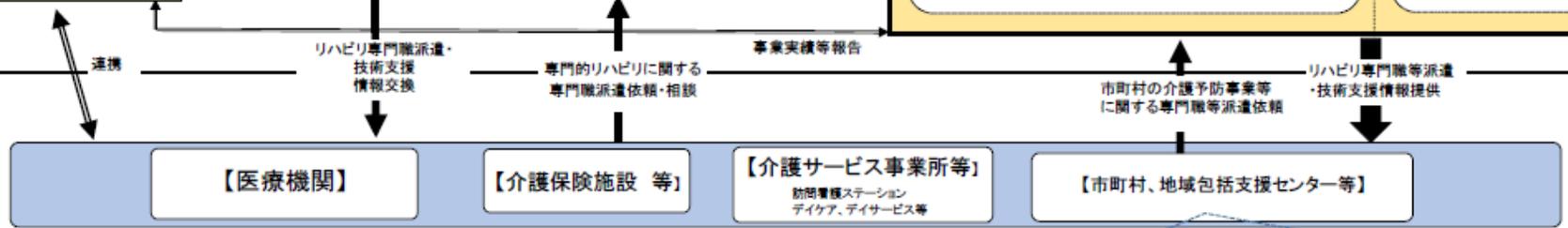
- (1) 介護予防事業等へのリハビリ専門職の派遣による技術的支援
- (2) 協力機関との連携による介護予防事業等へのリハビリ専門職の派遣調整
- (3) 市町村等における介護予防事業等への支援内容、支援結果等のデータ収集、広域支援センター・厚生センターとの情報共有
- (4) 介護予防等に関する住民への普及啓発

**地域リハビリテーション  
協力機関**（知事指定）  
令和3年3月31日現在

新川医療圏：8か所  
富山医療圏：26か所  
高岡医療圏：13か所  
砺波医療圏：8か所 計55機関

- (1) 地域包括ケアサポートセンターからの依頼に応じて、リハビリ専門職等を派遣
- (2) 介護予防事業等への支援内容、支援結果の評価等を地域包括ケアサポートセンターへの報告

(二次医療圏内の)市町村



## (5) 循環器病と緩和ケア

循環器病の中でも心不全は、すべての心疾患に共通した終末的な病態であり、高齢化に伴い患者も増加していることから、患者と家族のQOL向上を図るため、医師等の医療従事者や県民等に対して研修会を開催

○かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催(再掲)

○循環器病県民公開講座の開催(再掲)

## (6) 相談支援及び情報提供

患者やその家族の個別ニーズに対して関係者が連携・協力し、適切かつ継続的な相談支援体制の構築と相談支援の充実を図る。

### ○高次脳機能障害支援普及事業

県高次脳機能障害支援センターを設置し、障害者等への相談支援や普及啓発等を実施

【R4年度相談実績：延1,698件】

### ○障害者就業・生活支援センター事業

障害者の就労や生活に関する相談支援等を実施

【R5.3月末利用登録者数2,130人】

### ○富山県脳卒中・心臓病等総合支援センター（富山大学設置）



## (7) 循環器病の後遺症を有する者に対する支援

循環器病は、発症後様々な後遺症を残す可能性があることから、後遺症等に関する理解を深める普及啓発に努めるとともに、機関との連携体制を整備し、高次脳機能障害者やその家族等への総合的な支援を行う。

- 高次脳機能障害支援普及事業(再掲)
- 富山県リハビリテーション支援センターの運営(再掲)
- 地域リハビリテーション広域支援センターの運営(再掲)
- 地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営(再掲)

## (8) 治療と仕事の両立支援・就労支援

治療と仕事の両立や復職・就労について、患者・家族の悩み等の把握に努めるとともに、医療機関や労働局、富山産業保健総合支援センター等の関係機関と連携し、それぞれの課題・悩みに応じた情報提供・相談支援ができる体制の整備を推進

### ○富山県地域両立支援推進チーム会議による情報共有



## (9) 小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策

学校健診等の機会における循環器病患者の早期発見の推進と、循環器病患者の小児期から成人期にかけて切れ目のない支援体制の整備と療養生活に関する相談支援と児童の自立支援を推進

### ○小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性疾病児童等自立支援員等による療養相談・訪問指導等の支援を実施

### ○学校心臓検診の実施

心疾患が発見された児童生徒への適切な保健管理と健康指導を実施

### ○心臓病の子どものためのオンライン講演会（富山県心臓病の子どもを守る会と共催）

日 時 令和4年10月23日（日）13：30～15：00

内 容 Web講演会

「子どもと取り組む、今できる移行期医療  
～自分らしく生きていくために必要な準備をしよう～」

参加者 34名

## 3 循環器病の調査・研究推進

### (1) 診療データの収集・分析

国が進めている循環器病に係る診療情報の収集・活用の公的な枠組みの構築状況を注視

### (2) 本県の特徴を踏まえた研究推進

#### ○診療データの収集・分析

富山県脳卒中情報システムや急性心筋梗塞の診療情報等を収集し、発症や診療、連携状況の分析及び評価を実施